

令和7年度 第2回まちづくり部会

「重度心身障害児者、医療的ケアが必要な人たちの生活について語り合おう②」

昨年度に続き、重度心身障害児者、医療的ケアが必要な人たちの生活について語り合う場をもち、22名の参加がありました。

✿ 前半は4名の方々より情報提供がありました ✿

①まちづくり部会部会長 西田典子氏より

○井戸端カフェ開催の経緯 ○昨年度の井戸端カフェから出た三つの生活課題(現在、災害時、親亡き後) ○岡山県内の福祉避難所における非常用電源の設置状況 等

②岡山県重症心身障害児(者)を守る会 宮木悦子氏より

○岡山県重症心身障害児(者)を守る会の目的、実績、課題、ご自身の経験、思い 等

③くらし安全課 岩本班長より

○災害時の避難所、福祉避難所設置の現状 ○三日間の備えの重要性
○命に関わるときの救急要請への対応 等

④非常時の電源について 光伸ホームサポート(株)栗原悠也氏より

○ポータブル電源の紹介 ○生活家電に必要な電力の例
○酸素吸入器にはガスタイプ ○必要電力の計算方法配布 等

令和7年10月8日 in 中央図書館

「重度心身障害児者、医療的ケアが必要な人たちの生活について語り合おう②」



✿ 井戸端カフェ ✿



✿ 参加者からの感想 ✿

○ポータブル電源、重度心身障害児者のお母さんの話が聞けて良かった。(当事者)
○その時々のライフステージを生きることに必死でその時しか見えていないのですが、障がいがある方もどんどん次のライフステージにすすんでいくので、地域で継続して考えることが必要だなと思いました。(家族)
○当事者の方も多く参加され、直接支援されている方の不安を聞くことができました。イベント時、利用者さんと一緒に地域に参加されて交流し、地域の方に知っていただくことから活動されている様子がよく分かりました。(支援者)
○30年前のご苦労を伺い、学校に看護師がいない時代を懸命に乗り越えてこられたおかげで今があるということを知りました。(支援学校教員)

